

うつ病治療薬の比較

	選択的セロトニン再取込み阻害薬	三環系抗うつ薬	セロトニン・ノルアドレナリン再取込み阻害薬
長所	抗コリン作用が少ない 抗うつ、抗不安作用あり 依存性なし	依存性がない 乱用が少ない 確実な抗うつ効果	抗コリン(+ヒスタミン、 α_1)作用が少ない 忍容性が高い、難治例に有効？
短所	効果発現が遅い チトクローム代謝による 薬物相互作用あり 薬価が高い	効果発現が遅い 抗コリン作用などの副作用 が多く忍容性が低い	チトクローム代謝による 薬物相互作用あり トランスアミラーゼ上昇の報告 躁転の危険性がある
副作用	嘔気などの消化器症状 性機能障害 退薬症候群	抗コリン作用 心血管毒性 過量服用で致命的	悪心などの消化器症状 性機能障害
位置付け	うつ病治療の第一選択 急性期治療・維持療法 ともに有用	SSRI に反応しなかった 患者にも有効な場合がある	うつ病治療の第一選択 特に難治例で有用 慢性疼痛にも有効